

1 産地の概要

＜対象地域＞ 美浜町、常滑市、南知多町

＜対象品目＞ キュウリ

＜産地の現状・課題＞

- ・愛知県の知多半島に位置する美浜町等では新規就農者も受け入れながら、規模拡大中。
平成20年度は14名(324a)→平成30年度には22名(423a)
- ・10aあたりの部会平均収量は18.9t/10aと他産地に比べ高くなく、特に経験の浅い生産者に収量の低いものが多い。
- ・温度・湿度・炭酸ガスのモニタリングを行い環境改善に取り組むが収量の増加が頭打ち。
- ・日射量や土壌水分を考慮した改善に関する知見が少ない。

2 検討体制

＜美浜きゅうり技術改善協議会構成員と役割＞

- ・JAあいちきゅうり部会(役割:モニタリング等を参考とした栽培管理)
- ・あいち知多農業協同組合美浜営農センター(役割:事務局、検討会の開催、栽培指導、革新計画の策定)
- ・愛知県経済農業協同組合連合会(役割:情報分析支援)
- ・愛知県知多農林水産事務所農業改良普及課(役割:栽培指導、調査実施支援、革新計画の策定)



生育状況の確認

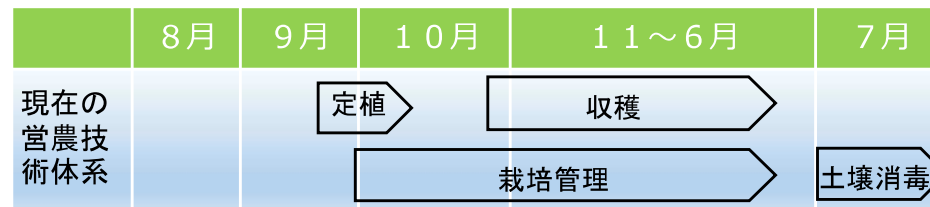


pFのモニタリング

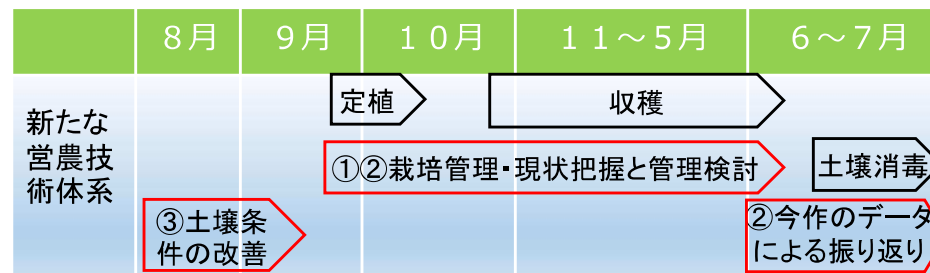
3 新たな営農技術体系への転換

＜目指す産地像＞

モニタリング機器の活用によるほ場条件の把握
観察と環境モニタリングによる現状把握と管理検討
生育にマイナスとなり得る条件の改善活動(土壌条件等)



- ①地下部モニタリング機械導入
②モニタリング情報を活用した管理検討
③土壌条件の改善



＜新たな営農技術体系の効果(検証結果)＞

4月まで収量が前年超の者の割合:導入者 89%(未導入者 42%)

pF値推移からの地下部環境を推察・判断

新規就農者を含めて、データを活用した研修研究活動の実施

＜新たな営農技術体系の今後の取組内容＞

取組主体	R3	R4	R5	R6	R7
愛知県知多農林水産事務所 農業改良普及課	モニタリング情報等活用支援、技術情報の更新支援				
JAあいち知多美浜営農センター JAあいち経済連	モニタリング情報を活用した栽培指導・勉強会の開催				
JAあいち知多きゅうり部会	モニタリング情報を活用した栽培管理・改善の実施				